



地域の特色ある文化・芸術……………【平戸市】

平戸は、松浦党で有名な平戸松浦氏によって代々統治された土地です。中世には倭寇の拠点として、近世には国際貿易港として長く栄えました。松浦氏の治世によって歴史的・文化的価値が高いものが数多く残されており、国指定重要無形民俗文化財の「平戸神楽」や2022年にユネスコ無形文化遺産に登録された「風流踊」の一つ「平戸のジャンガラ」などがあります。

平戸神楽

吉岐を除く旧平戸藩領内の各神社の祭礼で舞われており、神社の祭式に合わせて小神楽(8番)、中神楽(12番)、大神楽(18番)、大大神楽(24番)があります。最も番数の多い大大神楽は、毎年10月26日に平戸城内の亀岡神社で披露されています。3本の真剣を使い、1人で舞う13番の「二剣の舞」は代表的な舞で、真剣を使う緊張感と力強く神秘的な舞が多くの人々を魅了します。



平戸のジャンガラ

ジャンというかね鉦の音とグワラという太鼓の音が「ジャンガラ」の由来といわれており、踊り手は浴衣姿で菅笠をかぶり、腰に小さな太鼓を付けて踊ります。平戸市内の9地区で伝承されており、踊りや構成にはいくつかの違いがありますが、「穂長う、穂も実も出でよ」という意味の「ホーナーゴ、ホーミーデ」という唄と踊りを各神社仏閣に奉納し、雨乞いや五穀豊穡を祈願します。



ながさきピース文化祭2025 「長崎県地域文化章」による顕彰を行っています

県では、県内各地で地道な文化活動を続け、地域文化の向上と発展に貢献している個人・団体に対し、「長崎県地域文化章」を贈り、その活動と業績を顕彰しています。受賞された皆さんの地道な文化活動は、地域活性化の大きな原動力となるとともに、本文化祭の開催を盛り上げる力になっています。

【第38回受賞者】

長崎ウーマンズ・ウォークラリー実行委員会(長崎市)
鹿山雷神太鼓(波佐見町)

問合せ 県の文化振興・世界遺産課 ☎095-895-2764



第38回長崎県地域文化章授与式の様子

令和7年度に本県で開催される「ながさきピース文化祭2025」に向け、県内の特色ある伝統芸能や文化活動を地域ごとにシリーズでご紹介します。

つたえる県
ながさき

vol.96 2024年4月号
(発行) 長崎県広報課
〒850-8570(住所不要)
☎095-824-1111
(デザイン) デザインスタジオ ヨンエフ

長崎県公式LINE 長崎の変プロジェクト

